



Basic & New

3-023ECX-00-01

日本ペイント株式会社
製品使用説明書

ニッペ ライニングPG 中塗

ビニルエステル樹脂ガラスフレーク含有中塗り塗料

特 長

- ・「特定屋外貯蔵タンク内部の腐食を防止するためのコーティングに関する指針」に規定するガラスフレークコーティング材料として、KHK（危険物保安技術協会）にて認定されております。（ホワイトおよびグレー）
- ・塗装作業性が良好です。
- ・低温乾燥性にすぐれています。
- ・エアレス1回塗りで350μmまで塗装できます。
- ・塗膜物性に優れ、素地との密着性にすぐれています。
- ・耐水性・耐塩水性がすぐれています。
- ・耐衝撃性・耐摩擦性がすぐれています。

塗 料 性 状

		塗料液		硬化剤		
色		ホワイト、グレー		無色		
密度(g/cm ³)(23)		1.30(混合塗料)、1.30(塗料液)、1.06(硬化剤)				
光	沢	-				
引	火 点	31		72		
発	火 点	490 (参考値)		505 (参考値)		
消防法 表 示	化 学 名	合成樹脂エナメル塗料				
	危険物区分	第4類 第2石油類(非水溶性)		第5類自己反応性物質		
	危険物等級	III(火気厳禁)		II(火気厳禁、衝撃注意)		
有 機 溶 剤 区 分	第2種		なし			
毒 劇 物 表 示	-		-			
有 害 物 表 示	-		-			
国 連/指 針 番 号	1866/128		3101/146			
環 境 性 能	ケル ^レ リス	配合せず	ホルムアルデヒド	配合せず	トルエン	配合せず
	キシレン	配合せず	パラジクロロベンゼン	配合せず	エチルベンゼン	配合せず
	スチレン(モノマー)	35.5%	フタル酸ジ-n-ブチル	配合せず	テトラカ	配合せず
	フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	配合せず	ゲイジノ	配合せず	アセトアルデヒド	配合せず
	フェノール	配合せず	鉛	配合せず		
T V O C	37.5%					

・塗料性状に記載の数値は、全て代表的な色相、つやを想定しています。

塗 装 基 準

下 地 調 整 :

- ・ニッペライニングPG プライマーを塗付した上に塗装してください。また、ブラスト処理(ISO Sa2 1/2以上)後、直接塗装もできます。
- ・硬化剤量は使用温度により「塗料液/硬化剤=100/0.8~3.3」の間で調節してください。(冬季は促進剤を併用してください。)

混 合 :

2液形のため、「塗料液:硬化剤=90:1(重量比)」に混合し、十分にかくはんしてください。

荷 姿 :

18.2kgセット(塗料液:硬化剤=18kg:0.2kg)

ポットライフ :

70分(23)

希 釈 剤 :

スチレンモノマー[反応性希釈剤]、アセトン[洗浄用]

塗 装 方 法 :

塗 装 方 法	エアレススプレー塗り
希 釈 率	0~5%
使 用 量	0.62kg/m ² /回
膜厚(ドライ)	300μm
膜厚(ウェット)	350μm

・上記の各数値は、標準的な数値です。被塗物の形状・素地の状態・気象条件・希釈率および測定機器・測定方法により増減します。

・上記の使用量は、記載の塗装方法で標準的に使用する量を記載しています。必要に応じ、所定の使用量・膜厚になるように使用量・塗り回数を調整してください。

・一次圧0.4~0.5MPa 二次圧18MPa以上 チップNo.163-529、531など

エアレス条件 :

乾 燥 時 間 :

	5	23	30
指 触 乾 燥	2時間	2時間	2時間
塗 り 重 ね 乾 燥	16時間以上1ヶ月以内	16時間以上1ヶ月以内	16時間以上1ヶ月以内

・乾燥時間は目安です。使用量、通風、湿度および素地の状態によって異なります。

・塗り重ね乾燥時間は非日照部での時間です。

注意事項

- ・促進剤を使用する時には、塗料液にあらかじめ促進剤を加え、よくかくはん後、硬化剤を加えさらにかくはんしてください。（促進剤と硬化剤とを混ぜると爆発をすることがあります。）
 - ・硬化剤量は使用温度により「塗料液/硬化剤=100/0.8~3.3」の間で調節してください。（冬季は促進剤を併用してください。）
 - ・特定屋外貯蔵タンク内部の腐食を防止するためのコーティングに関する指針は、平成6年9月1日消防危第74号消防庁危険物規制課長通知によるものです。
 - ・硬化剤は冷暗所に貯蔵してください。
 - ・硬化不良部分は、スチレンモノマー、アセトンで拭き取って再塗装をしてください。
 - ・塗装面にタール成分やオイルが付着していると硬化不良になることがありますので、塗装前に取り除いてください。
 - ・密閉場所では換気を十分に行い、溶剤許容濃度以下で作業してください。乾燥中も換気してください。
 - ・5 以下の場合や、湿度85%以上、または鋼板温度が露点温度より3 以内の場合は塗装を避けてください。特に湿度に敏感のため、塗装時や塗膜乾燥過程で留意ください。
 - ・塗装作業終了後のスプレー装置、はけなどの塗装器具類はアセトンですみやかに洗ってください。
 - ・ジンクリッチプライマーやタールエポキシ塗膜の上に本品を塗装しないでください。
 - ・溶剤系塗料のため、室内での塗装は必ず換気を行ってください。また、外部での塗装においても、換気口・空気取入口などに養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないように注意してください。居住者へのご配慮をお願い致します。
 - ・硬化剤が皮膚に付着した場合には直ちに水またはせっけん水でよく洗ってください。
 - ・作業前に容器に記載している「安全衛生上の注意事項」をご参照ください。
 - ・塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
- 製品安全に関する詳細な内容は安全データシート（SDS）をご参照ください。

本書類の内容については、予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

本書類中の製品名・会社名は、日本ペイント株式会社、その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。

Copyright (c) 2014 Nippon Paint Co., Ltd. All rights reserved. この書類に対する加筆、修正はご遠慮ください。